

八潮学園の行動指針

義務教育学校の特色を生かした一貫教育を実践するとともに、保幼小連携と一貫教育を接続した教育を推進する。また、品川コミュニティ・スクールとして、学校と家庭・地域が一体となって持続性を保ちながら目指す児童生徒像を共有し、各々の役割を果たしながら教育活動の改善と健全育成に取り組む。

さらに、教育課程編成における中長期プランは、以下に示す「教育活動」「教育経営」「地域支援」の3つからなる。このプランの具現化を図ることにより、学校全体の教育活動を活性化させる。

<教育活動>

・義務教育学校の特色を生かした一貫教育・前期課程からの教科担任制の拡充と学年団担任制の導入による複数教員での指導体制・保幼小連携と一貫教育を円滑に接続した15年間の教育

<教育経営>

・複数教員での組織体制・主体的・創造的な働き方改革の推進・学校DX推進による教育活動の充実

<地域支援>

・品川コミュニティ・スクールの制度を活用した八潮地域と共にある学校・学校支援地域本部主催による教育活動・保護者・地域の人材を活用した体験的学習

特に、今年度も「区の防災教育重点校」として、全学年を挙げて防災教育の一層の推進を図る。また、「多様性理解・多文化共生の実現に向けた取組」として、元デフサッカー選手による授業やホッケー教室など、パラスポーツ体験や講演を実施する。今後も共生社会の実現に向け、近隣の私立ろう学校である明晴学園との手話教室、児童生徒間交流、そして、品川総合福祉センターと連携した障害者理解、福祉、人権など心を育む教育活動を進めていく。

さらに、本校の中長期プランが目指す2030年はSDGs (Sustainable Development Goals) の実現を目指す年であり、子どもたちの未来が今までとは異なり、変動性 (Volatility)、不確実性 (Uncertainty)、複雑性 (Complexity)、曖昧性 (Ambiguity) に満ちた、将来の予測が困難なVUCAの時代になる。その中で、「品川区教育振興基本計画『品川区教育ビジョン』」を基本理念に、次世代の日本や地域を支える人材を育てるという使命を担い、創意工夫を生かした教育課程を編成する。

そして、本校の教育活動全体の基盤となる行動指針8C(やしお)に基づき、①「変化 (Change)」を求め、そこで何かを生み出すために②「挑戦 (Challenge)」する精神、③「継続する (Continue)」ぶれない心・折れない心を持ち、④「創造 (Create)」創意工夫、豊かな発想、豊かな感受性を活かし、⑤何事にも自分自身に「自信 (Confidence)」をもって、⑥「思いやる心・考え抜く力 (Consider)」を磨き、⑦実践的なコミュニケーション能力を培い「協働 (Collaborate)」し、⑧「地域・社会に貢献 (Contribution)」する。そして、新たな自分を創造「グローバル人材育成 (cosmopolitan)」をしていく。

本校の教育は、「自らを成長させるために挑戦することを怠らず、常に信頼関係をもって協働していく。また、困難な状況においても諦めることなく立ち向かうことのできる強い心を育む」ことを本質とする。そして、「地域・社会貢献を意識し、変化を自ら求め、継続して挑戦し、規範意識をもって協働していくこと」。

この8C(八潮)こそが、本校の教育活動全体の基盤となる行動指針である。さらに、2040年以降の社会を見据え、多様で変化の激しいSociety5.0時代を生き抜くために、必要な資質・能力の育成をめざした「一貫教育」を推進し、自他共の「ウェルビーイング」の向上を基本に「品川コミュニティ・スクール」の基盤を形成し、生徒、保護者、地域社会の期待に応えていけるよう、私たち教職員は全力で教育活動に取り組んでまいります。今後とも、本校の教育活動へのご支援、ご協力を心からお願いいたします。

八潮学園の行動指針 (人間力・社会力)

